

今後の園経営を真剣に
考えていきたい認可保育所の
事業主の皆様へ

このようなお悩みありませんか？

- ✓ 認定こども園へ移行すべきか迷っている
- ✓ 既に認定こども園への移行は完了しているが
そもそも今後の経営を考えた時に何をすべきかわからない
- ✓ 定員が少なく、利用調整のみの募集活動に不安を感じている

認可
保育所
向け

認定こども園 移行セミナー2026

1号認定の受入れで、安定した経営基盤を実現！

令和8年度からの新常識！

POINT

01

1号認定10名or15名設定により、収入1,000万円以上アップ！

面積上各学年5名ずつ定員を設定することができ、かつ充足すると収入が認可保育所の時と比較して、1,000万円以上増加する！令和7年度より定員区分が15名よりさらに下の10名区分ができたことで、より柔軟かつ収入メリットが大きい定員設定が可能に！

POINT

02

定員超過の減算無し！1号認定設定に伴う収入増！

令和7年度より定員超過に関する減算が厳格化されました。そこで、1号認定を設定し2・3号認定児を適切に受け入れることで、減算を受けることなく安定した経営実現が可能に！

POINT

03

1号認定の満3歳児を受け入れることで、同じ2歳児でも無償化対象に！

2歳児の学年と同じである、1号認定の満3歳児クラスを設定することで、1名当たりの公定価格が高くなり、園の収入が増加します！

ゲスト講師

社会福祉法人さくら福祉会
園長 安井修氏

2026年開催日時 14:00～17:00 (受付開始:開始時間30分前～)

5月26日(火)

大阪会場

船井総研グループ大阪本社
サステナグローススクエアOSAKA

6月3日(水)

東京会場

船井総研グループ東京本社
サステナグローススクエアTOKYO

参加特典

専門のコンサルタント
による無料個別相談会
(1時間)

詳細は裏面へ！

【2026年版】認可保育所向け認定こども園移行セミナー

主催



サステナグロースカンパニーをもっと。

Funai Soken

お問い合わせ No. S140256

株式会社船井総合研究所

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー 35階

お申し込みは
こちら



WEBからお申し込みいただけます。(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索マークに「お問い合わせNo.」を入力ください。)
当社ホームページからお申込みいただけます。

検索

140256

少子化による就学前人口の減少に負激しく変化する幼保業界で永続

認定こども園に移行することで、より安定した経営へ！

同じ利用定員でも認可保育所（委託費）と認定こども園（給付費）ではこれだけ差が出ます。

モデルケース

利用定員105名の認可保育所

	1号定員	2・3号定員 (保育標準時間)	学年合計
0歳児	0	15	15
1歳児	0	15	15
2歳児	0	15	15
3歳児	0	20	20
4歳児	0	20	20
5歳児	0	20	20
定員合計	0	105	105

利用定員105名の認定こども園

	1号定員	2・3号定員 (保育標準時間)	学年合計
0歳児	0	15	15
1歳児	0	15	15
2歳児	0	15	15
3歳児	5	15	20
4歳児	5	15	20
5歳児	5	15	20
定員合計	15	90	105

認可保育所委託費 136,682,580円

認定こども園施設型給付費 176,618,820円

差額 約 3,990万円

認定こども園に移行する **経営的メリット**は **加算項目数**にあります！

保育所

加算数：20

処遇改善等加算(区分①②③)、3歳児配置改善加算、4歳以上児配置改善加算
 休日保育加算、夜間保育加算、減価償却費加算、賃借料加算
 チーム保育推進加算、副食費徴収免除加算、主任保育士専任加算
 療育支援加算、事務職員雇上費加算、冷暖房費加算、除雪費加算
 降灰除去費加算、高齢者等活躍促進加算、施設機能強化推進費加算
 小学校接続加算、栄養管理加算、第三者評価受審加算

※施設や園児数の状況により全ての加算を取得できるとは限りません。

認定こども園

加算数：29

処遇改善等加算(区分①②③)、副園長加算、学級編制加算、3歳児配置改善加算
 満3歳児対応教諭配置加算、4歳以上児配置改善加算、講師配置加算、
 チーム保育加算、通園送迎加算、給食実施加算、休日保育加算、夜間保育加算
 減価償却費加算、賃借料加算、外部監査費加算、副食費徴収免除加算、療育支援加算
 事務職員配置加算、指導充実加算、事務負担対応加算、冷暖房費加算
 施設関係者評価加算、除雪費加算、降灰除去費加算、高齢者等活躍促進加算
 施設機能強化推進加算、小学校接続加算、栄養管理加算、第三者評価受審加算

※施設や園児数の状況により全ての加算を取得できるとは限りません。

上記の加算を適切に活用することで、
 収益性の高い園経営を実現することができます！

けない！認可保育所必見！ 的な園経営を行うための戦略

このようなお悩みありませんか？

✓ 認定こども園へ移行すべきか迷っている

園児が減少し、このまま同じ経営を続けることに不安を感じていませんか。
認定こども園に移行することで、収益性の高い経営体質に変えることができます。

✓ 認定こども園へ移行するメリットがよくわからない

自治体によっては利用調整に制限がかかり、これまでと同様に定員超過率120%を維持することができない自治体も出てきています。認定こども園に移行し1号認定を設定することで、制限された人員分以上に1号定員を設定することができ、経営を安定させることができます。

✓ 定員が少なく認定こども園に移行してもあまりメリットがないのでは？

定員が少ない園だからこそ、自園で募集機能を持つことで、利用調整だけに頼らない園児募集体制をつくることができ、自園の努力で経営を改善することができるようになります。

✓ 本当に自園で園児を集めることができるの？

園庭開放や子育て支援センターに来ている保護者に声をかけることで、1号認定の満3歳児や3歳児の園児募集活動とすることができます。

セミナーのポイント

POINT
01

保育所が認定こども園への移行を今検討する必要性

認定こども園への移行がなぜ今求められているのかについて、さまざまな事例を交えてお伝えいたします。

POINT
02

《参加特典!》個別相談会で園の状況に合わせたアドバイスが可能!

セミナー参加者限定で認定こども園移行に関するご相談を無料で実施させていただきます。
制度に関するどんな些細なことでも1時間たっぷりお話をさせていただきます。

POINT
03

よりよい園づくりへ！認定こども園への移行をきっかけに

認定こども園へ移行することが目的ではありません。
移行をきっかけにした、よりよい園づくりについてゲスト講師の事例を中心にお伝えいたします。

POINT
04

経営がより盤石になる、新しいノウハウが不要な経営施策

認定こども園に移行する際に必要なノウハウは制度理解以外ほとんどありません。
園の大小によらず、1号認定を設定することでより高い収益性と安定した経営基盤を作ることができます。

【2026年版】認可保育所向け認定こども園移行セミナー

開催日時などについて

2026年

5月26日(火)

6月3日(水)

大阪会場

船井総研グループ大阪本社
サステナグローススクエア OSAKA

東京会場

船井総研グループ東京本社
サステナグローススクエア TOKYO

※諸事情により、やむを得ず会場を変更場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。
また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。
尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

開催時間

14:00~17:00

受付開始：開始時間30分前～

申し込み期限

銀行振込…開催日6日前まで

クレジットカード…開催日4日前まで

※祝日や連休により変動する場合がございます。

受講料

一般価格
(1名様)

税込 33,000円
(税抜：30,000円)

会員価格
(1名様)

税込 26,400円
(税抜：24,000円)

※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、及び社長 online プレミアムプラン (旧：FUNAI メンバーズ Plus) へご入会中のお客様のお申し込みにも適用となります。

講演内容について

第1講演



未来の幼保業界から保育所と認定こども園を考える

加速する出生数の減少、保育所等利用率の増加という時流の中で、認定こども園へ移行する園が増えています。
幼保業界の現状と未来をもとに、認可保育所がどのような取り組みをおこなう必要があるのか、なぜ認定こども園移行なのかをお伝えします。

株式会社船井総合研究所 教育支援部 古谷野 俊輝

第2講演



ゲスト事例紹介

社会福祉法人さくら福祉会 安井修氏にご登壇いただき、
認可保育所から認定こども園に移行した事例とその中で感じたことについてお話いただきます。

社会福祉法人さくら福祉会 園長 安井 修 氏

第3講演



認定こども園への移行手順と移行後の運営体制構築に向けて

認定こども園へ移行することで利用調整に縛られない1号認定児を預かることができるようになります。
これにより園経営が改善し、教育・保育環境整備のための投資がより充実します。
上記を達成するために準備すべきことや移行に際して実施すべきことについて、最新情報を踏まえて解説いたします。

ポイント① 移行することでどれくらい収支改善をするのかわかる！

ポイント② 理想の定員設定がわかる！(令和8年度最新情報)

ポイント③ 1号認定はどうやって集めるのかわかる！

株式会社船井総合研究所 教育支援部 齋藤 拳

第4講演



明日からできる。認定こども園への道のり

認定こども園移行はゴールではありません。
移行後の持続的な園経営のために、明日から取り組むべきことについてお伝えいたします。

株式会社船井総合研究所 教育支援部 リーダー 居村 朋哉

お申し込みはこちらからお願いいたします！

お手持ちの機器より右記のQRコードを読み込んでいただき、セミナーページよりお申し込みいただけます。

※お申し込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください

お申し込み HP : URL

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/140256>

お問い合わせ先 船井総研セミナー事務局 E-mail: seminar271@funaisoken.co.jp
TEL: 0120-964-000 (平日9:30~17:30)
※お電話・メールでのセミナーお申し込みは承っておりません。

お問い合わせ No. S140256

